

平成30年 静岡県内の公共土木施設被害 ～ 政令市及び市町含む ～ 土木防災課所管

【概況】

3月5日から6日の豪雨をはじめ11回の異常気象で県、政令市及び市町が管理している河川、道路等の公共土木施設(国土交通省水管理・国土保全局所管(港湾・漁港・公園除く))が被害を受けた。昨年12月までに国土交通省及び財務省による災害査定が実施され、浜松市天竜区(15件、1,040百万円)、川根本町(12件、579百万円)をはじめ20市町、87件、約40億3千万円の査定決定を受けた。

【表1】

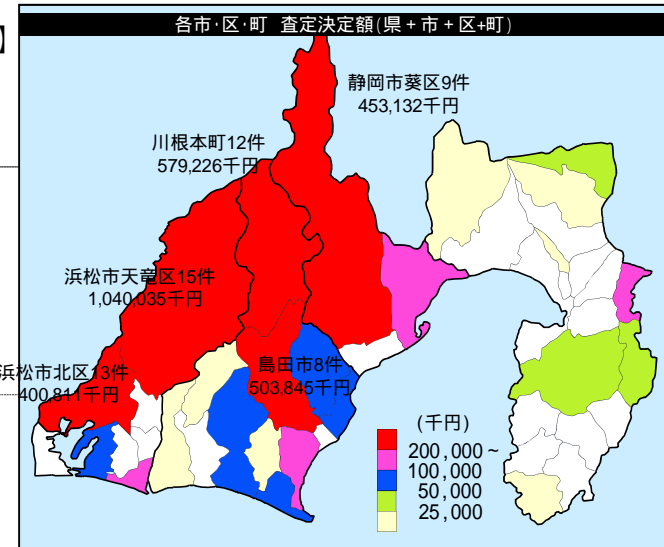
平成30年発生災害 査定結果集計(工種別)					
工種	県		市町		県+市町合計
	箇所	金額	箇所	金額	箇所 金額
河川	32	1,520,533	2	12,743	34 1,533,276
海岸	3	262,331	0	0	3 262,331
砂防	3	49,486	0	0	3 49,486
地すべり	0	0	0	0	0 0
急傾斜	0	0	0	0	0 0
道路	11	200,006	4	214,577	15 414,583
橋梁	0	0	0	0	0 0
下水道	0	0	2	165,854	2 165,854
合計	49	2,032,356	8	393,174	57 2,425,530

工種	静岡市		浜松市		政令市合計	
	箇所	金額	箇所	金額	箇所	金額
河川	0	0	3	25,083	3	25,083
海岸	0	0	0	0	0	0
砂防	0	0	0	0	0	0
地すべり	0	0	0	0	0	0
急傾斜	0	0	0	0	0	0
道路	9	453,132	18	1,123,375	27	1,576,507
橋梁	0	0	0	0	0	0
下水道	0	0	0	0	0	0
合計	9	453,132	21	1,148,458	30	1,601,590

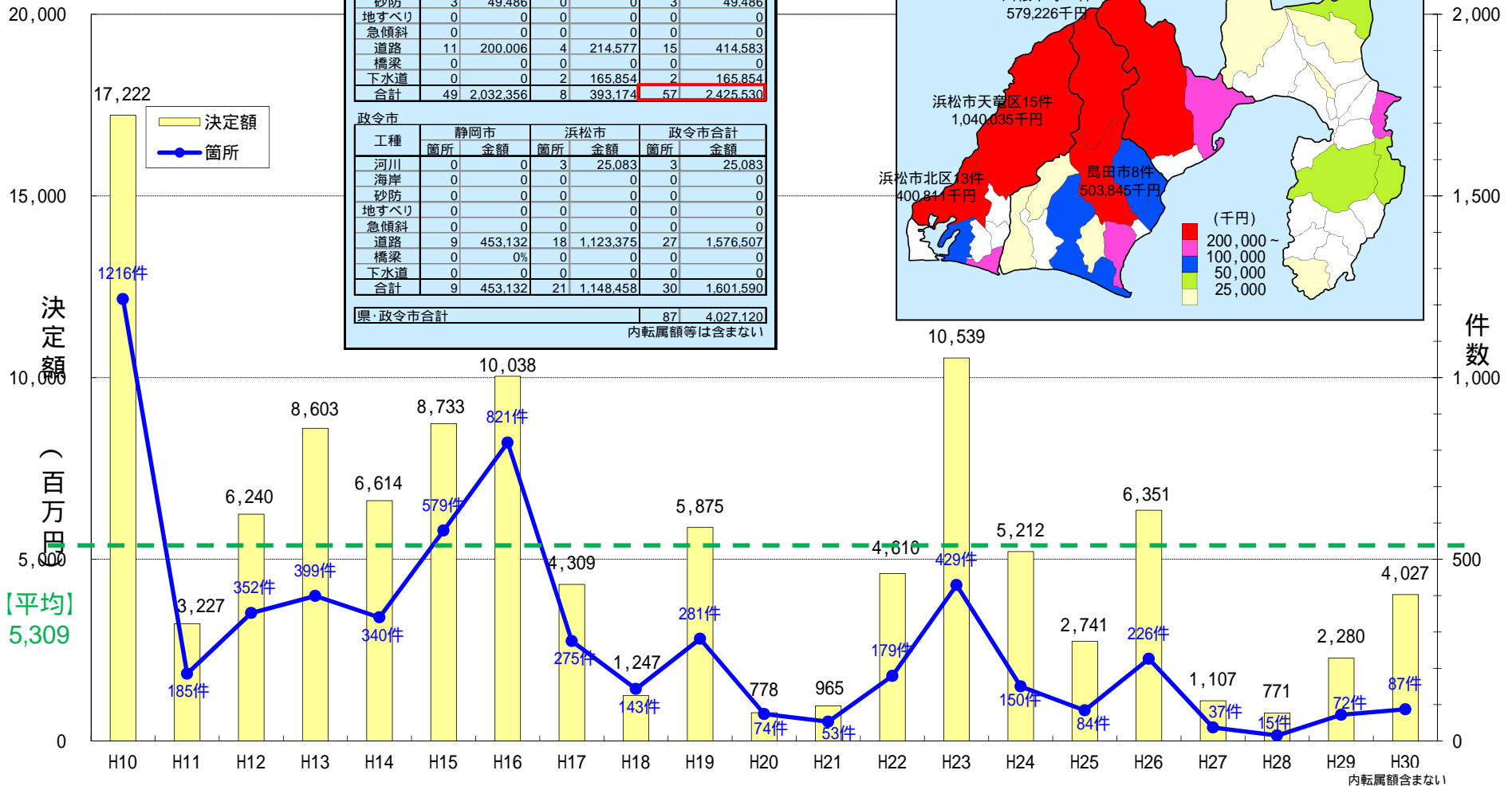
県・政令市合計	
箇所	87
金額	4,027,120

内転属額等は含まない

【表2】



【表3】

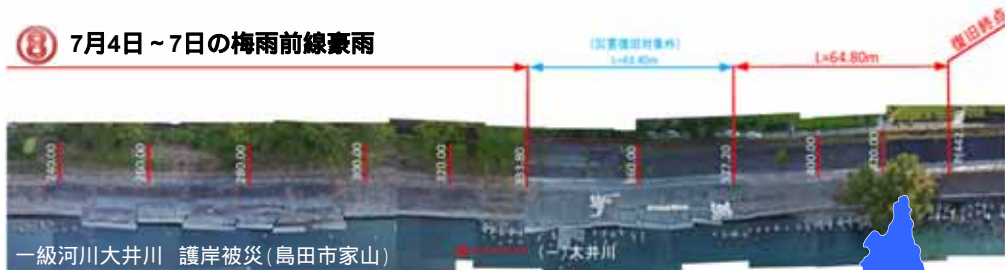


平成30年 静岡県内の主な公共土木施設被害の状況 ~政令市及び市町含む~ 土木防災課所管

【社会的影響が大きかった災害「9月30日から10月1日の台風第24号」】

台風の接近・通過により県内は山沿いを中心に大雨となり、静岡市・畑雑(道)で24時間最大雨量285mm、富士市・大淵(道)で時間最大雨量79ミリを記録した。県内中部、西部の河川を中心に水位上昇し、21河川25地点ではん濫注意水位(警戒水位)を超過し、興津川など2河川で氾濫危険水位に達した。沿岸部は強風と高波浪に見舞われ、竜洋観測所では、最大波高19.47mを観測した。公共土木施設被害は大井川をはじめ43箇所、約16億6,400万円の査定決定を受けた。

⑧ 7月4日～7日の梅雨前線豪雨



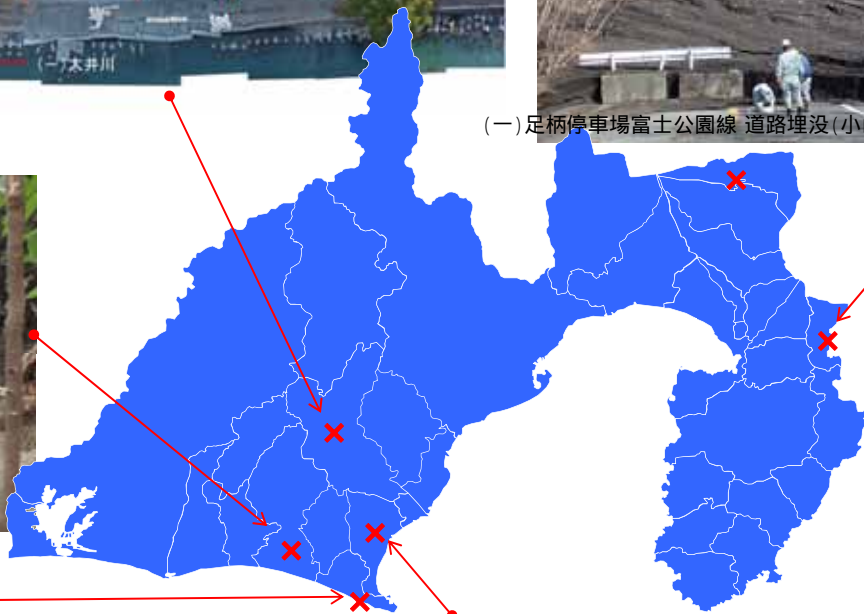
② 3月5日～6日の豪雨



⑨ 7月28日～29日の台風12号



⑦ 6月20日～21日の梅雨前線豪雨



⑪ 9月30日～10月1日の台風24号



① 平成29年10月17日～平成30年2月14日の地すべり



被災月日	被害原因	査定決定件数
29.10.17～30.2.14	地すべり	1
3.5～6	豪雨	2
3.8～9	豪雨	3
4.6	豪雨	1
4.24～25	豪雨	3
5.2～3	豪雨	1
6.20～21	梅雨前線豪雨	6
7.4～7	梅雨前線豪雨	22
7.28～29	台風12号	2
9.4～5	台風21号	2
9.30～10.1	台風24号	43
1.22～12.3	地すべり	1
計	12回	87